No.10135　御在所　藤内沢

春の集中登山の一環で、御在所岳・藤内沢ルートを辿る山行。前日の雨で沢の水量は多く、登攀中は水しぶきを浴びる場面も。核心部では、苔むした濡れ岩による不安定な足場と滑りやすい手がかりが続く。トラバースも足場が狭く緊張感のある状況。残地支点を利用し、ロープで安全確保。沢には入らずとも、初夏にはやや早い沢登りの雰囲気を堪能。曇天ながら時折日差しが差し込み、風は標高とともに強まる中、全員無事に下山。